

超速硬化ウレタンの下地調整

- ・通常配合で下地調整後混和液を上塗りすると、超速硬化ウレタン施工時に発生するピンホールを抑えます。
- ・新たにプライマーを塗布する必要はありません。
- ・養生時間 下塗り乾燥後上塗りし、上塗りが乾燥してから約2時間

下地の種類	施工の目的	調 合	塗布方法	塗布量目安(kg/m ²)	備 考
コンクリート モルタル	ピンホールの修復 ひび割れの修復 超速硬化ウレタンのピンホール発生抑止	下塗り 通常配合 上塗り 混和液のみ	下塗り コテ 上塗り 刷毛 ローラー	下塗り 平滑面 0.6 ~ 0.8/回 粗面は状態による 上塗り 0.1 ~ 0.15	ピンホールの修復は2回塗りが必要です。
アスファルト 防水層撤去後	残存するアスファルトとの仲介接着 超速硬化ウレタンのピンホール発生抑止	下塗り 通常配合(刷毛・ローラーの場合は粉体減量または水添加) 上塗り 混和液のみ	コテ・刷毛 ・ローラー	下塗り 平滑面 0.6 ~ 0.8 粗面は状態による 上塗り 0.1 ~ 0.15	密着していないアスファルトを残さないよう注意して下さい。プライマーを使用すると残存アスファルトを溶かす恐れがあるので、ノンプライマーで施工して下さい。アスファルト類に対し優れた付着性を有します。
砂付きルーフィング(シルバートップも可)	砂付きルーフィング・シルバートップとの仲介接着 超速硬化ウレタンのピンホール発生抑止	上塗り 通常配合(刷毛・ローラーの場合は粉体減量) 上塗り 混和液のみ	コテ・刷毛 ・ローラー	下塗り 平滑面 0.8 ~ 1.0 粗面は状態による 上塗り 0.1 ~ 0.15	シルバートップに対し接着良好です。ローラーで施工する場合は、水を添加せずに粉体を減量して下さい。(シルバートップに対する接着力確保のため)

下地の種類	施工の目的	調 合	塗布方法	塗布量目安(kg/m ²)	備 考
ゴムシート防水層撤去後	ゴムシート用接着剤との仲介接着 超速硬化ウレタンのピンホール発生抑止	下塗り 通常配合(刷毛・ローラーの場合は粉体減量 または水添加) 上塗り 混和液のみ	コテ・刷毛 ・ローラー	下塗り 平滑面 0.8~1.0 粗面は状態による 上塗り 0.1~0.15	クロロプレンゴム系接着剤に対し優れた付着性を有します。
塩ビシート防水層撤去後	塩ビシート用接着剤との仲介接着 超速硬化ウレタンのピンホール発生抑止	下塗り 通常配合(刷毛・ローラーの場合は粉体減量 または水添加) 上塗り 混和液のみ	コテ・刷毛 ・ローラー	下塗り 平滑面 0.8~1.0 粗面は状態による 上塗り 0.1~0.15	NBR系・エポキシ系接着剤に対し優れた付着性を有します。
ウレタン防水層撤去後(通気緩衝工法)	通気マット用接着剤との仲介接着 超速硬化ウレタンのピンホール発生抑止	下塗り 通常配合(刷毛・ローラーの場合は粉体減量 または水添加) 上塗り 混和液のみ	コテ・刷毛 ・ローラー	下塗り 平滑面 0.8~1.0 粗面は状態による 上塗り 0.1~0.15	ネオプレン系・ウレタン系接着剤に対し優れた付着性を有します。
ウレタン防水層	ウレタン防水層との仲介接着 超速硬化ウレタンのピンホール発生抑止	下塗り 混和液:粉体=1:1 上塗り 混和液のみ	刷毛・ローラー	下塗り 約0.2 上塗り 約0.1~0.15	混和液のみだとはじきが起こる場合があります。粉体を入れるとはじかなくなります。ウレタン防水材及びトップコートに対し優れた付着性を有します。
ポリマーセメント系防水材	溶剤による防水層の軟化防止及び仲介接着 超速硬化ウレタンのピンホール発生抑止	混和液のみ	刷毛・ローラー	約0.1~0.15	レジアンダー混和液は耐溶剤性に優れ、下地への溶剤透過も軽減するので既存下地の溶剤による軟化を抑えます。ウレタンプライマーの使用は厳禁です。ポリマーセメント系防水材及びトップコートに対し優れた付着性を有します。

下地の種類	施工の目的	調 合	塗布方法	塗布量目安(kg/m ²)	備 考
ポリエステル FRP防水材	不飽和ポリエステルとの仲介接着 超速硬化ウレタンのピンホール発生抑止	下塗り 下地調整含む 通常配合(刷毛・ローラーの場合は粉体減量または水添加)、プライマーとして 混和液：粉体 = 1：1 上塗り 混和液のみ	コテ・刷毛 ・ローラー	下塗り 通常配合 0.6～0.8 1：1配合 約0.2 上塗り 0.1～0.15	接着力確保のため、トップのパラフィンはサンディングにより除去して下さい。不飽和ポリエステルに対し優れた付着性を有します。
磁気質タイル ガラス 鉄 ステンレス	鉄との仲介接着 超速硬化ウレタンのピンホール発生抑止	下塗り 下地調整含む 通常配合(刷毛・ローラーの場合は粉体減量または水添加)、プライマーとして 混和液：粉体 = 1：1 上塗り 混和液のみ	コテ・刷毛 ・ローラー	下塗り 通常配合 0.6～0.8 1：1配合 約0.2 上塗り 0.1～0.15	左記下地に対し目荒らしを行わなくても優れた付着性を有します。付着を妨げる汚れ等は充分除去して下さい。
アルミ	アルミとの仲介接着 超速硬化ウレタンのピンホール発生抑止	下塗り 混和液：粉体 = 1：1 上塗り 混和液のみ	刷毛・ローラー	下塗り 約0.2 上塗り 0.1～0.15	アルミに対し接着良好です。酸化皮膜の無いアルミとセメントが直接接触すると、反応により水素ガスが発生します。ほとんどのアルミは酸化皮膜に覆われていますが、念のため試験塗りを行って下さい。